祝！「初優勝 御嶽海関」
号外出稿及び長野版でのお祝い企画を実施

↑御嶽海後援会の5段広告を掲載！

▲2018年7月21日（土）に配布された号外

▲2018年7月27日（金）付　中日新聞朝刊　長野版

今年の大相撲名古屋場所は白鵬、鶴竜、稀勢の里の三横綱や新大関栃ノ心も休場する波乱の場所となった。長野県上松町出身の御嶽海は三役として初日から11連勝を達成。安定した戦いぶりで千秋楽を待たずして初優勝を成し遂げた。

長野県出身の力士が幕内で優勝するのは、優勝制度が設定された1909年夏場所以降、初めてとなる。直後に出された号外には、御嶽海後援会の5段広告を掲載。7月27日付の長野版では「祝・初優勝企画」15段を実施、合計29件の協賛を獲得した。

号外を含め非常に短時間での作業となったが、御嶽海の新入幕から十両優勝、場所前の応援企画等、これまで多くの実績を積み重ねてきた中日新聞長野広告社の尽力により充実した紙面が完成した。

来場所の成績次第で大関昇進が見えて来る。更に多くの協賛獲得を目指し、その時に備えたい。

（名古屋本社広告三部　鈴木宏英）